



町長のまちづくり奮闘記

～元気で笑顔のあふれる福島町を実現するために～

【冷夏の夏を過ぎて～実りの秋に期待・・・】

今年は七月に晴天が続
き、浜では順調に養殖昆
布の収穫作業を終え、八
月の暑さを期待しており
ましたが、「まさか」の
期待を見事に裏切る冷夏
となり雨や曇りの日が多
く続きました。

西日本では暑い日が続
き、東日本では記録的な
長雨が続き、この夏は日
本の東西で天候が明暗を
分けました。

ここ数年は、毎年のよ
うに全国各地で、異常気
象やゲリラ豪雨による災
害が多発しており、町民
の安心・安全のために、
常に緊張感をもって職務
に専念したいものです。

八月十五日（火）に、
横綱記念館横の特設ス
テージ及び道の駅駐車場
において、横綱千代の山・
千代の富士記念館開館二
十周年イベントが現九重
親方並びに関取の千代ノ
皇関、千代風関などの九
重部屋の力士のご協力を
いただき開催されました。

当日は、お盆休みとい
うこともあり故郷へ戻ら
れた方や北海道を観光し
ている方など、大勢の
方々の参加をいただき、
九重部屋の特製ちゃんこ
鍋には長蛇の列ができて
おりました。

今思えば二十年前に、
簸内町長からの指示で横
綱記念館を建設すること
になり、九重部屋へ打ち
合わせに行った時、最初
は状況報告程度のつもり
でしたが、親方からこれ
まで準備していたものを
見て確認してくれという
ことで、急遽、九重部屋
へ泊りがけで調査するこ
とになり、真夏の暑い部
屋で汗だくになりながら
中島君と二人でリストを
作ったことを思い出して
おります。

改めて、九重親方の故
郷に対する深い思いに感
謝申し上げるとともに、
偉大な歴史と貴重な財産
を後世に引き継いでまい
ります。

ここ数年は、私たちが
小さいころから慣れ親し
んだ風景、海峡の漁火が
永く続くことがなく、お
盆で故郷へ帰町されてい
る方々も、少し寂しい思
いをしておりましたが、
今年はお盆過ぎから海
峡に漁火の明かりが多く
みられます。

やはり前浜の津軽海峡
線上に浮かぶ「いさり
火」は美しく、この漁火
が一日も長く続くことを
願うとともに、今後のイ
カ漁の豊漁に繋がること
を期待しております。（町
民の皆様には広報が届くこ
ろ・・・「よかつたね。」
の声を聴きたいものです。）
昨年は、低気圧により養
殖昆布が多く被害を受け
ましたが、今年六月末
から順調に収穫作業が進
み、ほとんどの漁師さん
がお盆前に作業を終えて
おります。

これまでの出荷状況を
見ますと、例年より高い
単価で推移しており、今

後に期待を寄せております。
また、マグロ漁やウニ
漁なども順調に水揚げさ
れており、特にマグロ漁
がここ数年にはない好漁
が続いており、これから
年末までの豊漁に期待し
ております。

よく人生には三つの
「さか」があると言われ
ます。

上り坂、下り坂、そし
て、「まさか」です。

上り坂や下り坂は、そ
ういう坂が来たとき心の準
備ができるが、突然くる
「まさか」は準備する余
裕がない。人にとってま
さかは最難の時とも言え
ますが、あらゆるまさか
を超えていくような人に
なりたいものです。

そのために、心に徳を
積み上げて、「その時」
に備えて自覚をもって
日々を大切に勤めたいも
のです。

「まさか」のない、海山
里が豊穡の秋となり、笑
顔が広がることを念じます。